



# 【セミナー】オランダ・ロジスティクス

～ EU関税・CBAMと持続可能なサプライチェーン ～



# Agenda

- 15:00 Welcoming remarks Mr. Koichiro Akatsu, Executive Managing Director of the Japan Machinery Center for Trade and Investment (JMC)
- 15:10 Welcoming remarks by Mr Remco Buurman, CEO of the Holland International Distribution Council
- 15.20 Importing and doing business in Europe through the Netherlands: The latest developments in EU customs compliance and the Carbon Border Adjustment Mechanism (CBAM) by Mr. Makoto Koinuma, Shareholder Greenberg Traurig Japan
- 15.40 Innovation & sustainability in the Dutch supply chain industry by Mr. Jasper Eggebeen, Senior Supply Chain Manager of the Holland International Distribution Council
- 16.00 How the Port of Rotterdam can help you optimize your supply chain by Mr. Kenzo Maris, Business Manager Shippers & Forwarders of the Port of Rotterdam
- 16:20 Q&A
- 16.30 Closing remarks by Mr. Jeroen Bokhoven, Executive Director for Japan of the Netherlands Foreign Investment Agency
- 16.40 Walk to the Dutch Embassy residence
- 17.00 Start networking reception at the Dutch Embassy residence



Kingdom of the Netherlands



Netherlands Foreign  
Investment Agency





## Welcoming remarks

**MR. KOICHIRO AKATSU**

Executive Managing Director

The Japan Machinery Center for Trade and Investment (JMC)





# Welcoming remarks

**MR. REMCO BUURMAN**

CEO

The Holland International Distribution Council (HIDC)



# BIGLAW BRIEFING

## オランダを通じた ヨーロッパにおける 輸入とビジネス

### 最新動向

- EU関税制度の改革法案
- 炭素国境調整メカニズム  
(CBAM)

## AGENDA

1. Greenberg Traurig, LLPの紹介
2. EUの関税制度とコンプライアンスに関する最新の動向
3. EUの炭素国境調整メカニズム（CBAM）に関する最新の動向
4. おわりに

## Greenberg Traurig, LLP

### 東京オフィス

- GT東京は、2015年1月に設立され、国内外の業務に注力する法律事務所として、様々なクライアントの国内取引及びクロスボーダー取引の双方にリーガルサービスを提供。
- 現在のメンバーは、一般企業法務、M&A、規制・コンプライアンス、不動産、訴訟などの専門知識を有する、日英対応可能な弁護士（英語ネイティブスピーカーを含む）で構成。
- クライアントが外国の取引相手と取引する場合、現地の弁護士と緊密に連携を行うが、東京チームの弁護士が主導して、取引相手との会議や交渉に参加することにより、クライアントに時間・費用対効果の高いリーガル・サービスを提供。

## Greenberg Traurig, LLP

アムステルダムオフィス グローバルな貿易、関税、付加価値税

アムステルダムオフィスは、国際貿易、関税、付加価値税に関して助言を行っている。貿易障壁の低減、EUの貿易・規制上の義務の遵守など、国際貿易問題において企業を代理している。

また、関税の負担軽減や税関許認可の取得など、グローバル・サプライチェーンにおけるコンプライアンス・ソリューションの開発・実施についてアドバイスしている。輸出入制限を含む経済制裁の遵守に関しても企業をサポートしている。

さらに、EUの関税・貿易問題に関してクライアントに助言し、訴訟や規制当局との交渉においてクライアントを代理している。



# EUの関税制度とコンプライアンスに関する 最新の動向

## EUの関税制度とコンプライアンスの現状

- EUでは、ほとんどの関税規則がEU法に基づくものであり、EU加盟国の27カ国すべてに直接的な拘束力を有する。
- しかし、輸入手続や税関当局の対応について、EU加盟国間で、まだ大きな差異がある。
- 物流セクターの規模、大規模で洗練された物流センターに関するオランダ税関の長年にわたる経験、輸入時の付加価値税の支払いを（適法に）行わないで済ませることが可能なケースが多いこともあり、オランダは依然としてEU域外から製品を輸入するのに適した国と考えられている。
- 急速に発展する世界貿易やサプライチェーンに対応するのが困難であることなど、一部のEU諸国で認識されている問題に対処するため、EUは、関税制度を現状にとどめる選択肢はないと考えている。

## EU関税制度の改革法案の背景

- Eコマースを含む貿易量の大幅な増加。
- 各国の税関当局が、EU国境での確認を必要とするEUの規則や基準（安全性や品質に関するものなど）の遵守状況を審査する役割を担っている。
- 各国の税関当局によるアプローチや解釈の違いにより、一部の地域では公平な競争条件の提供や十分な調整が行われていない。
- 企業からの関税制度の規制遵守の簡素化の要請。
- 関税制度の規制遵守と税関との協力に投資する企業に対する恩恵の提供の遅れ。

## 関税制度改革法案には何が含まれるのか？

EUとその加盟国は、以下の3つの点に焦点を当てることを目標としている。

1. 企業との新たな協力関係
2. よりスマートな税関検査への取り組み
3. eコマースへの現代的な取り組み

これらは何を意味するのか？

## 1. 企業との新たな協力関係

- EU関税データハブを創設し、企業が製品やサプライチェーンに関するすべての輸出入及びトランジット関連情報を単一のプラットフォームで提供できるようにする。
- これにより、企業はサプライチェーン、関税制度の規制遵守、税関とのやり取りを一元管理できるようになる。
- EU域内のどこに商品があるかにかかわらず、輸入者が拠点を置くEU加盟国で商品の通関手続きを行うことが可能となる。
- 一方で、税関はその時点でまだ公表されていない多くのビジネスデータを把握することができる。
- 税関と十分に協力し、改定される基準を遵守している場合、輸入業者は「**Trust & Check**トレーダー」として認められる。このような事業者は、税関の積極的な介入なしに通関を済ませることができる。

## 2. よりスマートな税関検査への取り組み

- 改革法案により、税関当局は企業のシステム内のリアルタイムのデータにアクセスできるようになる。サプライチェーン、輸出入製品、流通、商品の加工を把握できるようになるため、税関は常にリスクを監視し、必要な検査や措置を決定することができる。
- 税関は、商品がEUに到着する前に関連データにアクセスできるようになるため、規制に準拠しない商品の差し止めが容易になると予想される。
- 新たに創設されるEU税関当局には重要な役割がある。EU税関当局は、EU関税データハブのデータを監視し、EU加盟国の税関当局による検査と税関当局間の協力を促進する。

### 3. eコマースへの現代的な取り組み


- 今日、税関当局は（EU内外の）eコマース事業者による大量の輸入に苦慮している。これらの輸入は、その数と複雑さから、通常の輸入手続を阻害している。税関当局による十分かつタイムリーな監督は、かなり複雑ものとなる。
- 改革法案では、以下のような規制が行われる予定である
  - プラットフォーム事業者が（より大きな責任を伴う）役割を担う。
  - プラットフォーム事業者は、関税及び付加価値税に関する規制並びに輸入品に対する様々な要件を遵守することを確保しなければならない。
  - 150ユーロ未満の貨物に対する関税の免除措置は廃止される。
  - 関税制度の規制の簡素化を行う（例えば、関税分類について、標準的な規則の代わりに4つの関税区分を設ける）と共に、eコマースに関連する付加価値税の規制との連携を強化する。

## 施行予定

- 10~15年かけて完全に施行される。
- 新しいEU関税制度の一部の条項は、採択後まもなく適用される（時期は未定）。
- eコマース貨物に対するEU関税データハブの利用を含む、eコマースに関する新たな法制度は2028年に予定されている。
- その他の輸入業者は2032年時点でEU関税データハブへのアクセスが可能になる可能性がある。2038年には、関税制度の規制遵守のためにEU関税データハブを利用する義務が生じる。
- 2028年には、EU税関当局がその任務を開始する予定である。
- その後徐々に、EU税関当局、各国の税関当局及び企業が、関税制度その他の規制法上の義務を遵守することを支援する新しいシステムが導入される。

## 今後の見通し

- 法案はまだ提案段階である。欧州委員会は欧州議会とEU理事会に提案書を提出し、加盟国の代表と詳細を協議している。
- 実施スケジュールを含め、変更が行われる可能性は高い。
- 法案とその実施に向けた政治的プロセスは、税関当局の考え方に影響を与える可能性があり、また、特定の変更が早い段階で適用される可能性もあるため、EUの関税制度及び規制の遵守方法に関する動向を注視することが重要である。



# EUの炭素国境調整メカニズム (CBAM) に関する最新の動向

## CBAMの概要

- EUのCBAM規則（規則(EU)2023/956）は、輸入品とEU域内で生産された製品や電力との同等な価格設定を保証するため、EUに輸入される特定の製品及び電力の炭素排出量を報告するよう輸入業者に求めている。
- CBAMに基づく炭素価格の設定及び徴収は2026年1月から開始される。
- 2023年10月1日付で、2025年12月31日までの経過措置が開始された。この期間中、EUは対象製品の輸入に関する一定のデータを収集する。EU当局は輸入者に対し四半期ごとの報告を求めているが、炭素税はまだ徴収していない。最初の報告期限は2024年1月で、2023年第4四半期の輸入が対象となる。

## CBAMの目的

- **CBAMの2つの目的**
  1. **CBAM**は、世界中の生産者と政府が脱炭素化への取り組みを強化し、かつ**EU**への販売競争力を維持できるよう動機付けることを期待している。
  2. **CBAM**は、**EU**の生産者の脱炭素化を支援しようとしている。**EU**は、市場ベースの措置に初めて輸入品を含むことにより、**EU**の生産者と輸入業者が同じ炭素コストを負担することを保証し、公平な競争条件に置こうとしている。
- したがって、**CBAM**が効果的に実施されれば、グローバルな排出量を削減し、競争上の優位性を再定義することができる。
- 他国においても、**CBAM**に類似する税制を検討しているところもある。

## ▶ CBAMの経済的な影響

- CBAMが与える経済的影響は大きい。
  - eコマース: EUの輸入業者にとっては、2030年までに年間約20億ユーロのコスト増が予想される
- 下流部門では、自動車、建設、包装、家電セクターに対する影響が最も大きいと予想される。
- エンドユーザーへの影響は、個々の製品の価格弾力性による。

## 適用範囲となる製品

CBAMは当初、特定分野の製品のEUへの輸入に適用される。対象となる製品は、CBAMの付属書に列挙される。列挙されている製品は以下のとおり。

- (a) セメント
- (b) 電気
- (c) 肥料
- (d) 鉄及び鋼
- (e) アルミニウム
- (f) 化学物質（現時点では水素のみ）

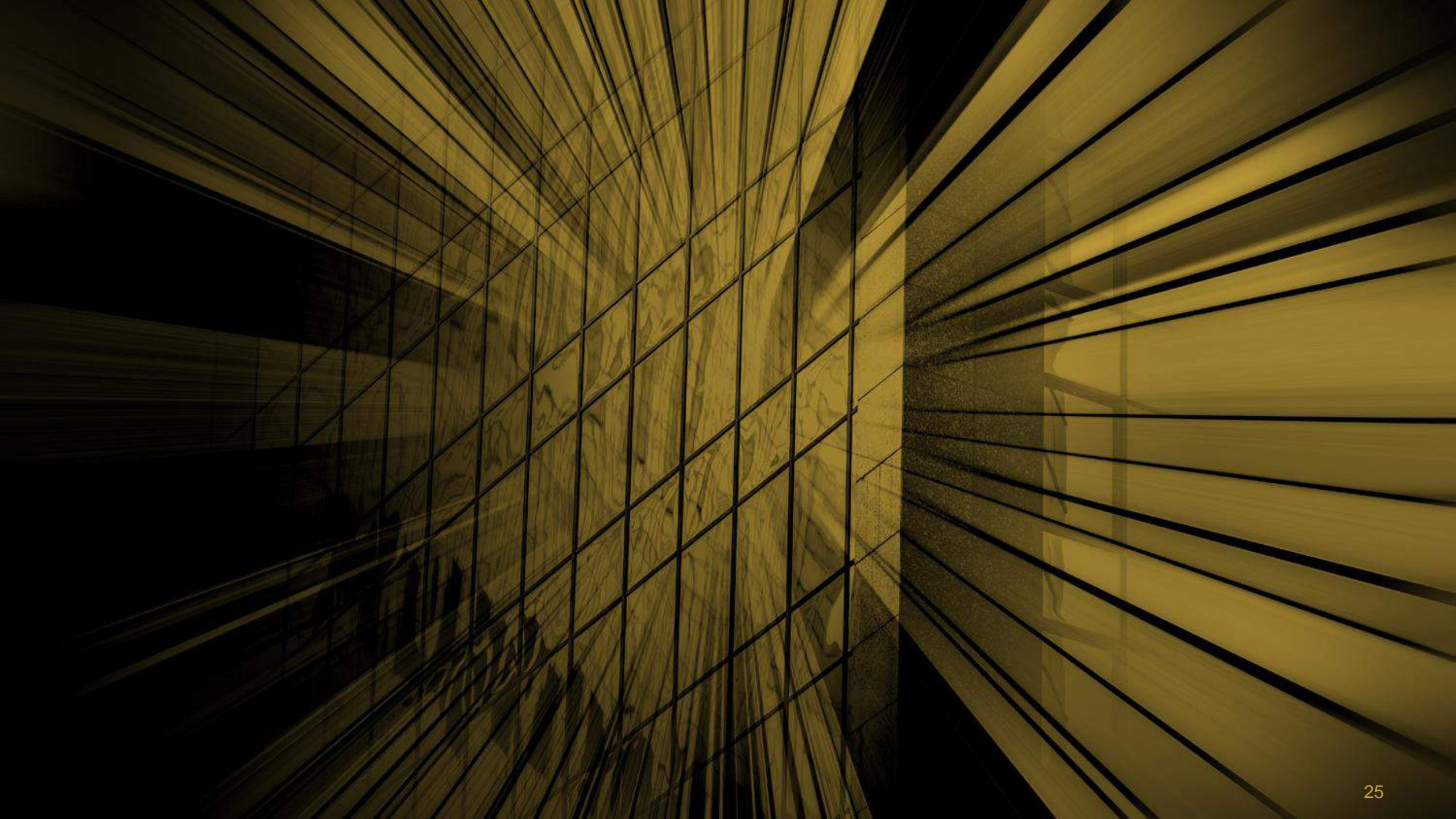
上記リストは確定的なものではなく、変更や追加もあり得る。

## 移行期間（2023年10月1日～2025年12月31日）

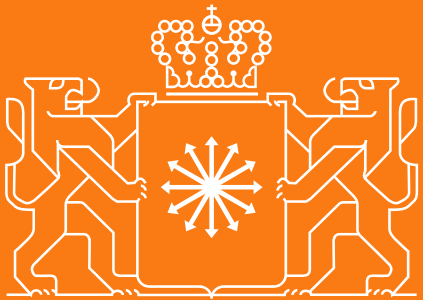
- 報告の義務のみが課せられるが、違反（報告懈怠又は不正確な報告）はEU加盟各国によって罰せられる。
- 報告義務者：CBAM申告者。  
基本的には、税関申告書を提出すべき輸入者又は通関代理人が該当する。EU加盟国以外の企業は、指定された通関代理人（通関業者など）を通じて申告することができる。
- 暫定的なCBAM登録簿を通じた報告を要する。
- CBAMに関する排出量を決定するための報告書テンプレート及びガイダンスが用意されている。実務的には、必要なデータを収集し、これをEUが要求するデータ及びフォーマットに変換することは、かなり複雑なものとなる可能性がある。

## ▶ CBAM体制の施行（2026年1月1日～）

- EU域内への対象製品の輸入業者は、温室効果ガスの排出量を含む年次報告を行わなければならない。
- 輸入者は、対応する数量のCBAM証書を引き渡すことによって、これらの輸入にかかるCO<sub>2</sub>排出コストを補償しなければならない。
- CBAM証書は、EU排出量取引制度（ETS）を通じて入手する必要がある。価格はオークション価格に基づいて決定され、CO<sub>2</sub>排出量1トン当たりの価格（ユーロ）で表示される。
- 移行期間中及びそれ以降、EUはCBAMの影響の見込みを評価し、必要に応じて調整を行うことができる。



# Holland International Distribution Council



Holland  
International  
Distribution  
Council

Innovation &  
sustainability in the  
Dutch supply chain  
industry

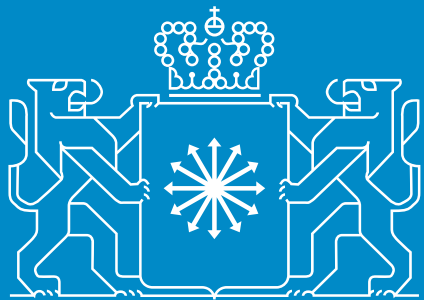
Jasper Eggebeen



27 October, 2023

# Agenda

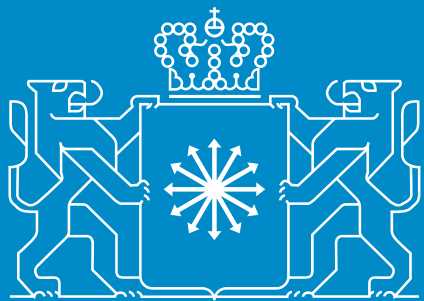
- Supply chain Innovation
- Supply chain sustainability
- The Netherlands becoming a hydrogen hub



Holland  
International  
Distribution  
Council



# Supply chain Innovations

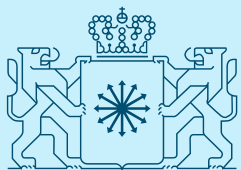


Holland  
International  
Distribution  
Council



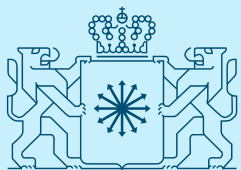
# The future of logistics

- Technology, digitization, automation and sustainability will shape the future supply chain
- All parties in the supply chain will share data and be digitally connected
- Sustainability is becoming top priority
- In future, the Netherlands aims to be the smartest and most sustainable supply chain hub in Europe



# The key enabling technologies

- Big data + analytics
- Robotization/Automation
- AI (deep/machine learning)
- Digitization
- Electric vehicles
- IOT
- Augmented reality & Virtual reality
- Digital twins
- 3D printing
- Sensors and automatic identification
- Predictive analytics
- Stock/network optimization tools
- Unmanned vehicles and drones



Holland  
International  
Distribution  
Council



# Innovations in the Netherlands

## HARDWARE



automation



robotization



sustainable solutions

## SOFTWARE



data & information exchange



supply chain optimization



digital infrastructure

## ORGWARE



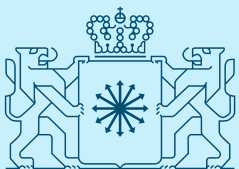
serious gaming & education



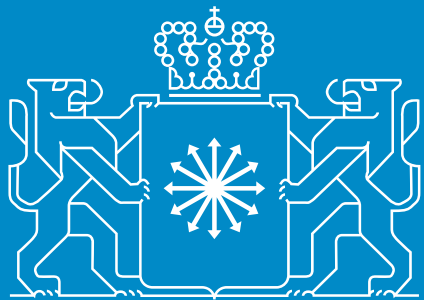
synchromodal solutions



new business models & collaboration



# Supply chain sustainability

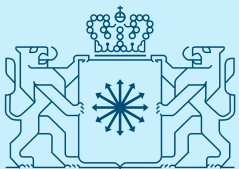


Holland  
International  
Distribution  
Council



# Committed to sustainability

- The Netherlands commits to the Paris Climate Agreement
- The Netherlands commits to being a circular economy by 2050
- The Netherlands commits to reduce CO<sub>2</sub>-emissions by half in 2030 (compared to 1990)
- The Netherlands commits to having emission free cities by 2025 (ZECL)
- The Dutch government provides a €35 billion fund to invest in climate and (energy)transition measures in the next 10 years

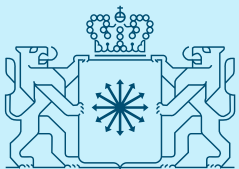


Holland  
International  
Distribution  
Council



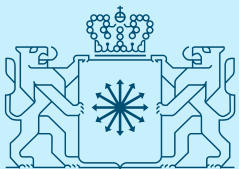
# Focus on sustainability

- Energy efficient/neutral warehouse buildings
- CO2 neutral transport
- Reusable packaging
- Coordination of logistics processes through data sharing



# Most sustainable building in the world

- The distribution center of supermarket Hoogvliet in Bleiswijk has won the International Breeam Awards 2022 for the most sustainable building in the world.
- Some building highlights
  - >20.000m<sup>2</sup> solar panels
  - Use of residual heat from cooling and freezing installations to heat the office
  - free of fossil fuels
  - Breeam outstanding score of 93,7



Holland  
International  
Distribution  
Council



# Most important developments in 2023

## Technology and automation

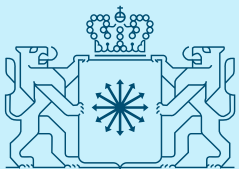
- Shortage of staff and warehouse space drive automation/robotization
- Through automation, some LSPs claim to save 30 – 40% warehouse space while achieving personnel savings by a factor of 10
- AI is transforming supply chains with game changing insights

## Sustainability

- Shippers are demanding sustainable solutions
- LSPs treat sustainability as a matter of survival
- Circular supply chains are creating new opportunities
- Hydrogen can play a major role along side battery electrification in creating a carbon neutral supply chain

## Increased regulation

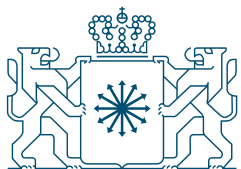
- The EU is introducing stricter laws regarding sustainability such as
  - EU supply chain law
  - CBAM
  - Zero emission zones



# Innovative and sustainable providers and suppliers

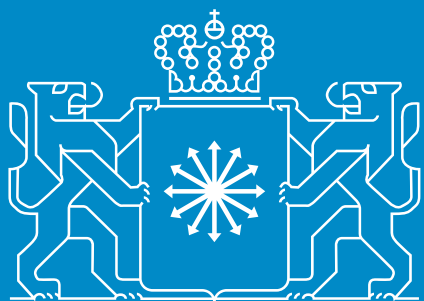
## The Supply Chain & Logistics Tech Market Map

The companies listed are all IT and technology driven and they contribute to a more sustainable supply chain



Holland  
International  
Distribution  
Council

# The Netherlands becoming a hydrogen hub

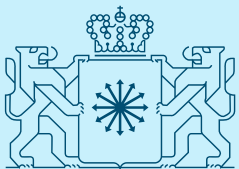


Holland  
International  
Distribution  
Council



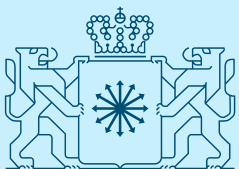
# Why hydrogen in supply chain?

- There are many initiatives to make the supply chain more sustainable
- But not all initiatives are suitable for all parts of the supply chain
- Hydrogen offers the benefit to long haul and heavy-duty transport via road rail and sea where battery powered electrification does not work
- Demand for hydrogen is growing but it needs an infrastructure and supply chain to make it happen.

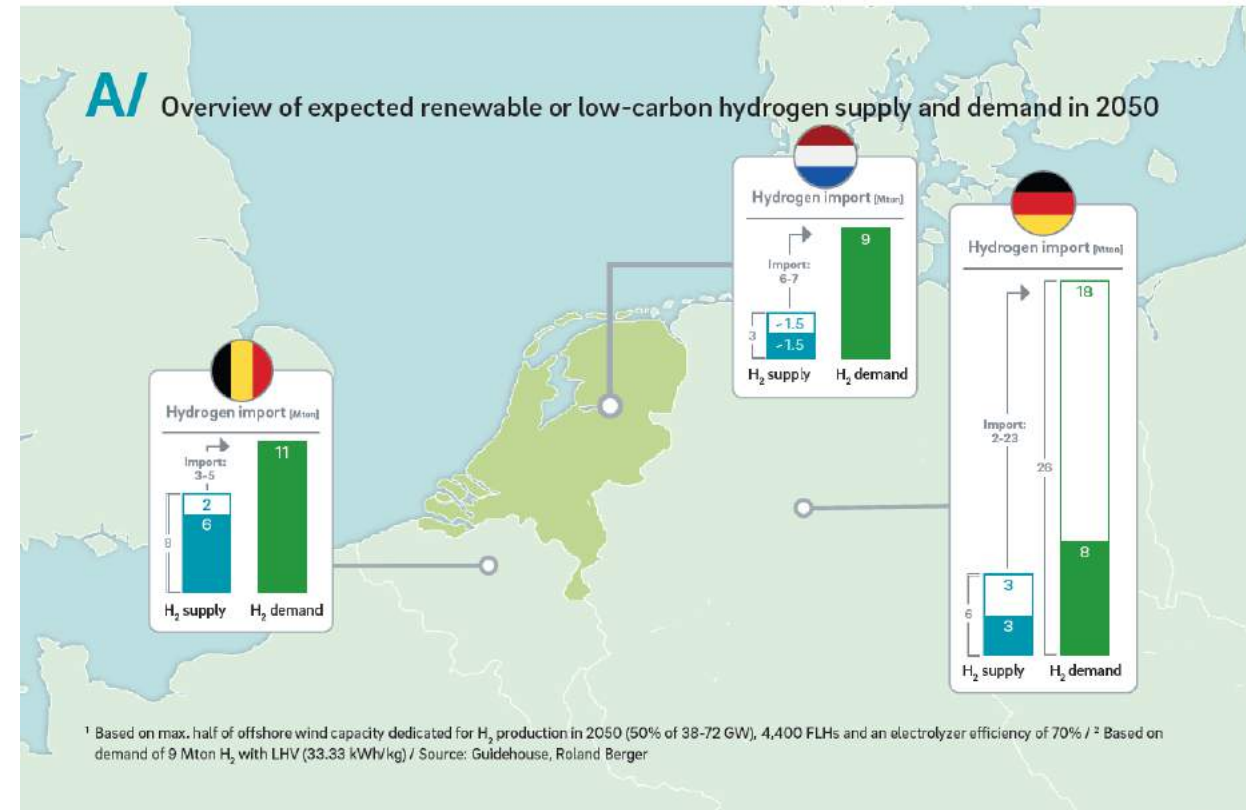


# Europe's Hydrogen hub

- Domestic production of Hydrogen in Europe will be insufficient to meet demand
- To bridge the supply gap, large-scale import of renewable or low-carbon hydrogen and derivatives will be unavoidable.
- The European Commission raised its targets for renewable or low-carbon hydrogen to 10 Mton domestic (EU) production and another 10 Mton in imports, all to be realized by 2030
- This will require a hydrogen hub to create a liquid market, where production, import, transit and local consumption all come together in one area or region
- The Dutch government stresses the necessity to "prepare for both domestic production and import of hydrogen"

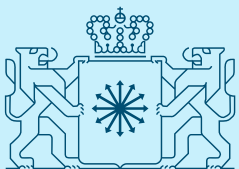


Holland  
International  
Distribution  
Council

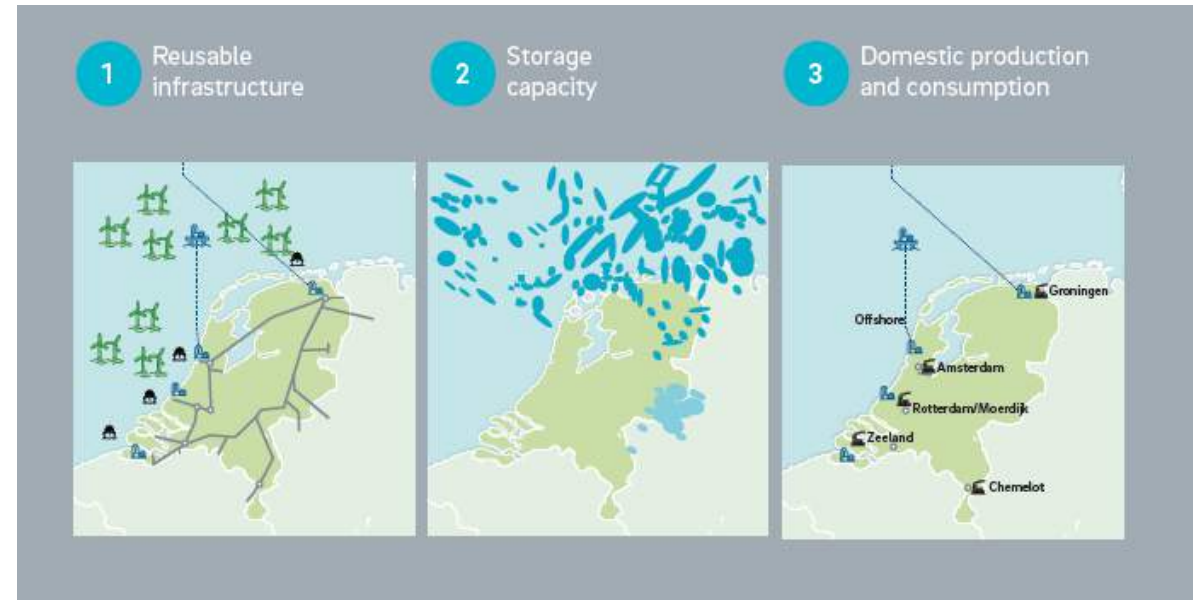


# The Netherlands has an excellent starting position

- Fortunately, the Netherlands has a strong position
  - it has pipelines and port infrastructure that it can repurpose
  - Plenty potential for hydrogen storage;
  - it is already home to many initiatives in renewable or low-carbon hydrogen production and consumption
  - and – crucially – it can leverage its experience as a successful hub for natural gas.
- These are considerable strengths that make the Netherlands well-positioned to beat its competitors to the prize.

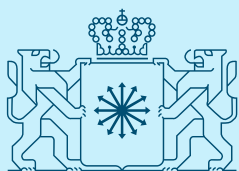


Holland  
International  
Distribution  
Council



## Supply chain as essential part to accelerate green hydrogen

- The hydrogen innovation infrastructure provides attractive opportunities for new entrants to the Dutch Hydrogen community to test, potentially pivot and commercialize their solutions in interaction with other parties in the supply chain
- But investors will only commit in markets where there is demand and means to supply.
- One of the main areas of investment in Hydrogen from the Netherlands is in supply chain solutions for import, storage, distribution and trade to create an efficient system that brings together supply and demand.



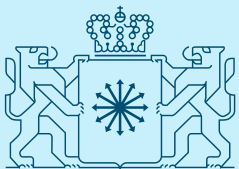
Holland  
International  
Distribution  
Council

<https://investinholland.com/news/how-the-netherlands-is-accelerating-green-hydrogen-through-international-collaboration/>

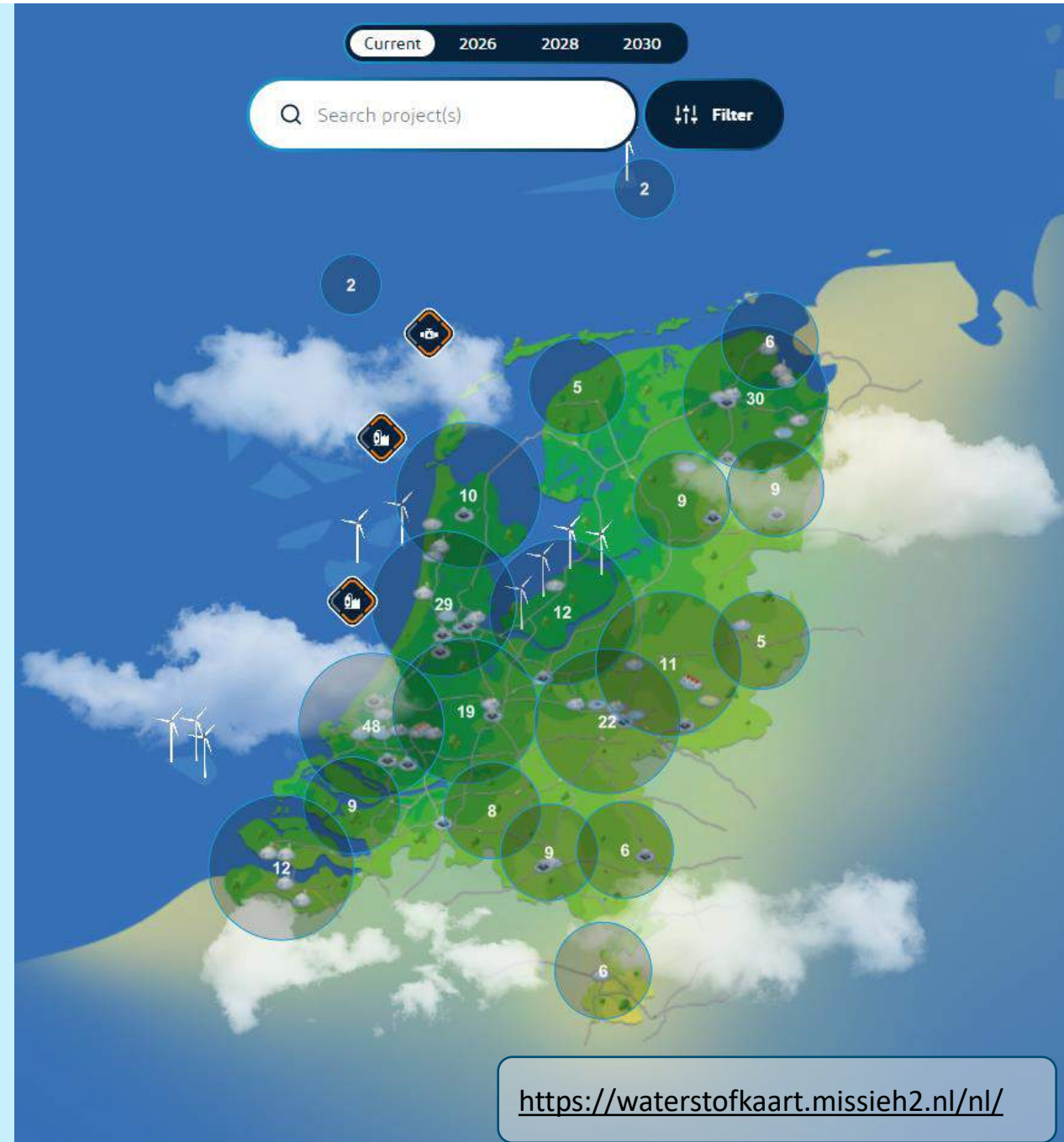


# Multiple initiatives already started

- Port of Rotterdam aims to become an international hydrogen hub
- The province of Zeeland is decarbonizing its industrial cluster via local production and import
- The region around the North sea channel wants to import, produce, trade and consume hydrogen on a large scale in its hydrogen hub
- Groningen is quickly becoming one of Europe's first hydrogen hubs
- Gasunie is planning a hydrogen import terminal in the Port of Rotterdam with HES International and Vopak. Their vision is to
  - Develop offshore hydrogen production sites in the North Sea
  - establish a hydrogen network in the Netherlands and beyond
  - export hydrogen.



Holland  
International  
Distribution  
Council



<https://waterstofkaart.missieh2.nl/nl/>

Feel free to contact us



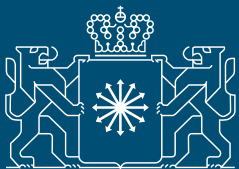
**Remco Buurman**  
CEO

E-mail : [r.buurman@hidc.nl](mailto:r.buurman@hidc.nl)  
Phone : +31 (0)6 5341 6775



**Jasper Eggebeen**  
Senior Manager Supply Chain Solutions

E-mail : [j.eggebeen@hidc.nl](mailto:j.eggebeen@hidc.nl)  
Phone : +31 (0)6 8384 8864



Holland  
International  
Distribution  
Council

# HOW THE PORT OF ROTTERDAM CAN HELP YOU OPTIMIZE YOUR SUPPLY CHAIN



# SUSTAINABILITY IN PORT OF ROTTERDAM

DECARBONIZATION OF THE PORT CONTROL AREA

- 55% 2030\*\*

DECARBONIZATION OF MARINE SHIPPING

- 20% 2030\*

CO<sub>2</sub>-NEUTRAL IN 2050\*\*\*

**REDUCE**  
*Energy efficiency & services*

**REPLACE**  
*New infrastructure  
& fuel switch*

- \* Compared to 2019, all shipping in the Port Control Area
- \*\* Compared to 2019, Port Control Area excl shipping
- \*\*\* Compared to 2019, all activities within the Port Control Area

# The Twin Transition



## Digital transition

Improving  
efficiency



## Sustainability transition

Improving  
environmental  
impact

# PORT OF ROTTERDAM

FACTS & FIGURES 2022

## CONTAINER THROUGHPUT



MIO TONNES



TEU



EUROPE'S LARGEST  
TRANSHIPMENT HUB



## MODAL SPLIT RTM – HINTERLAND



DEEPSEA CALLS  
PER WEEK



HIGHEST CONTAINER  
CAPACITY IN  
NORTH WEST EUROPE



48 DIRECT DEEPSEA SERVICES  
141 DIRECT CONNECTIONS

HIGHEST NUMBER OF DEEPSEA  
SERVICES (HLH RANGE) ON ASIA, SOUTH  
AFRICA & SOUTH AMERICA TRADES



32x  
FIRST PORT  
OF CALL

10x  
LAST PORT  
OF CALL

8,865  
CONTAINER  
VESSELS

4,807  
AVERAGE  
CALL SIZE

24,004 TEU  
LARGEST VESSEL  
EVER ALOT



TOP DEEPSEA  
TRADES IN VOLUME



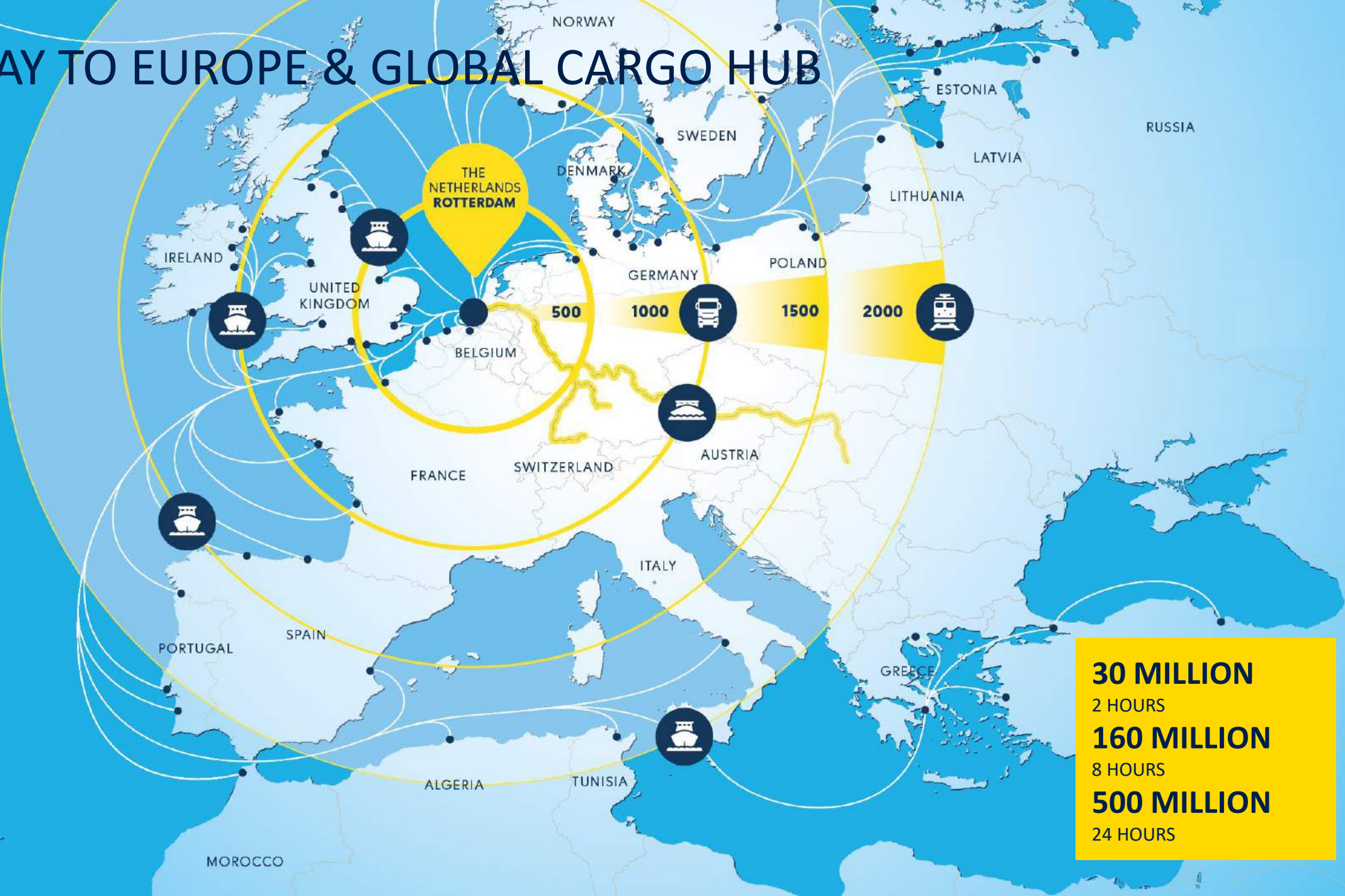
PROJECTED GROWTH OF  
CONTAINER TRADE

# ROTTERDAM - LOGISTICS HUB FOR NORTHWEST EUROPE



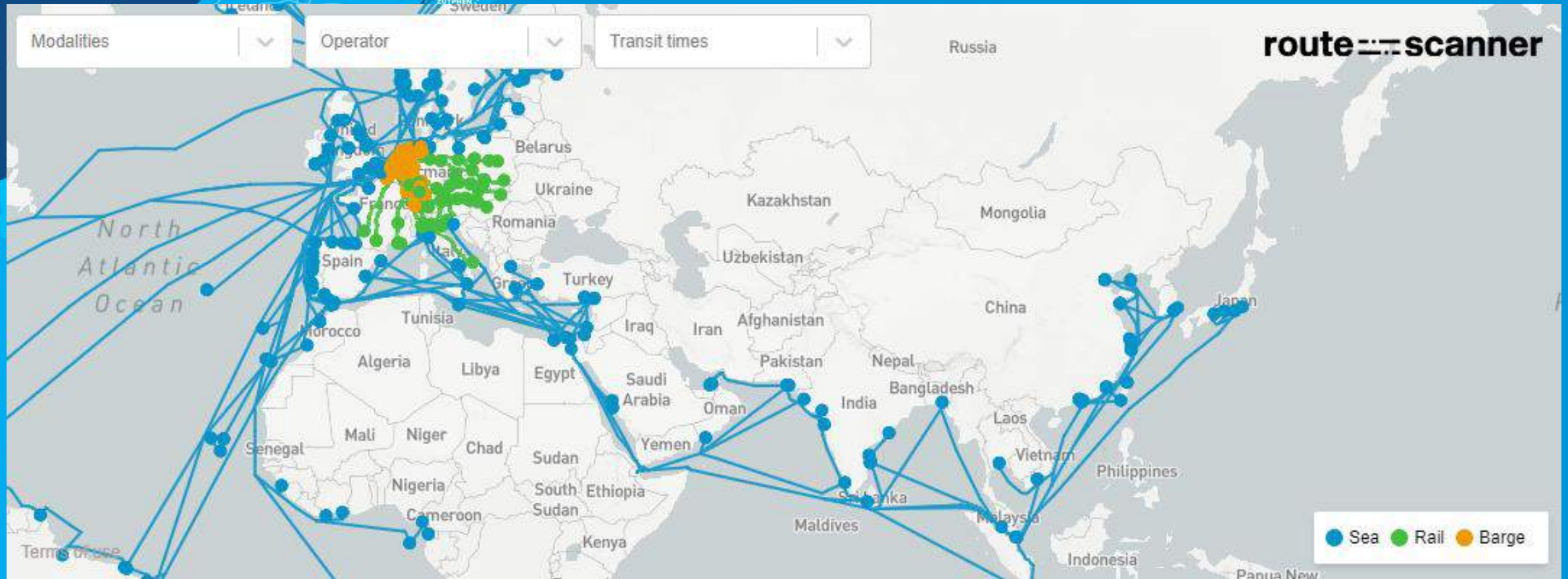
Import & export in millions TEU

# GATEWAY TO EUROPE & GLOBAL CARGO HUB

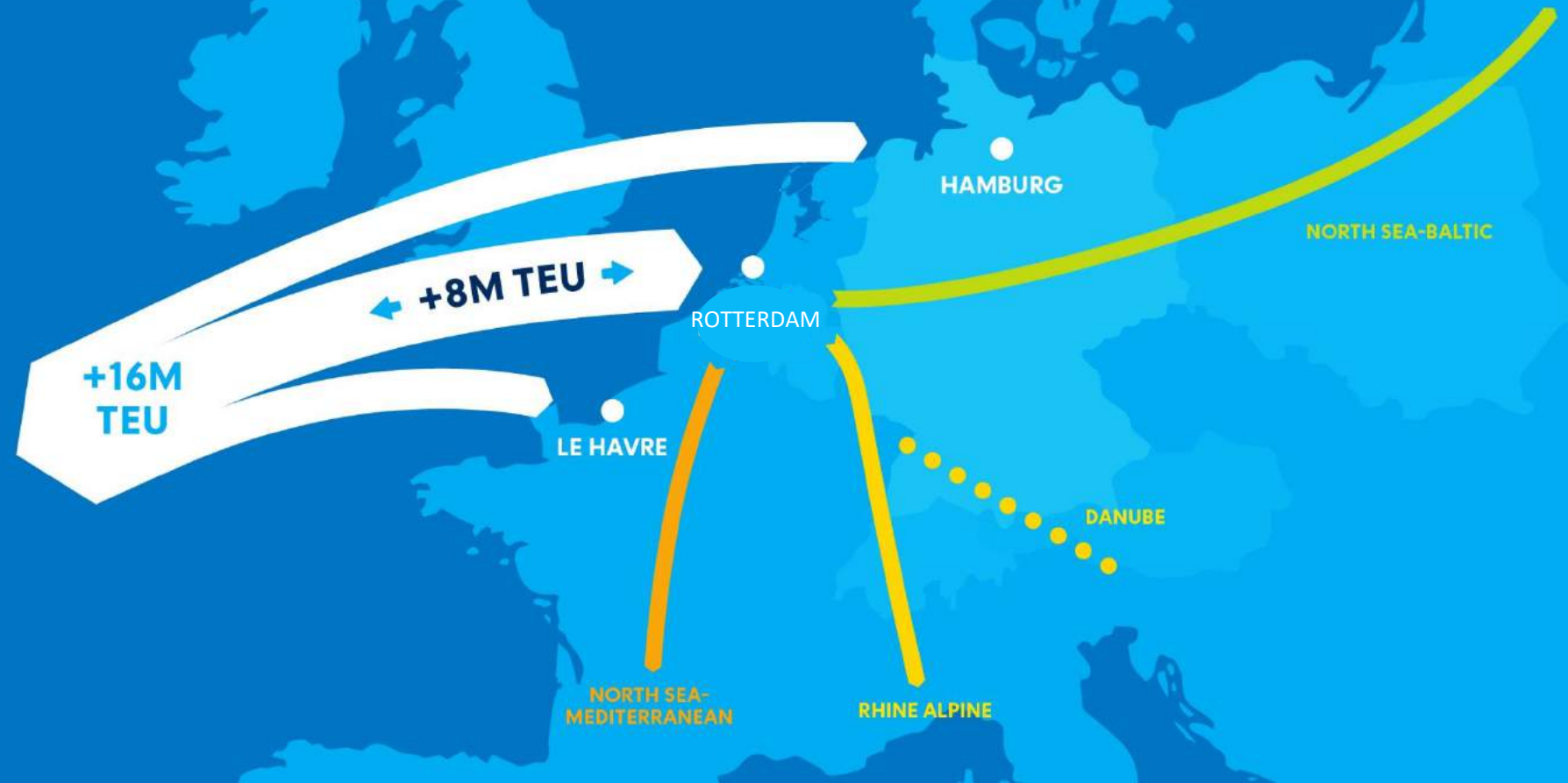


**30 MILLION**  
2 HOURS  
**160 MILLION**  
8 HOURS  
**500 MILLION**  
24 HOURS

# CONNECTIONS ASIA - ROTTERDAM



# EXPECTED GROWTH CONTAINERS BY 2035



# TERMINAL CAPACITY POSITIONED TO FACILITATE GROWTH

## FOCUS ON INVESTMENT IN PORT INFRASTRUCTURE AND HINTERLAND



\* Based on current modal split

\*\* Based on current split

# CHALLENGES WITHIN LOGISTICS TOWARDS 2050

Transport of goods causes **8%** of global greenhouse gasses (IEA)



Over **80%** of global trade is dependable on paper documentation



**20%** of truck moves are without cargo

To ship **1** load **200** interactions are required with over **20** companies



The logistics sector is still growing. If we don't act, by 2023 emissions will have increased with **7%**

# GLOBAL DRIVING FORCE FOR SUSTAINABLE LOGISTICS

**EFFICIENCY**  
Lower fuel consumption

**FUEL SWITCH**  
Sustainable fuels



## Deepsea Shipping

-  Hull Cleaning
-  Port Call Optimization
-  Green Corridors
-  Cleaner Engines

## Port of Rotterdam

-  Sustainable Terminals
-  Shore power
-  Bunkering & Supply
-  Digital Collaboration

## Hinterland

-  Clean Fuels and Engines
-  Electrified Inland Shipping
-  Hydrogen Trucks and Barges

**CO<sub>2</sub>-NEUTRAL IN 2050**

# COOPERATION IN THE CORRIDOR



LARGER CALL SIZES  
THROUGH BUNDLING



FEWER DEVIATIONS  
FROM PORT CALL  
AGREEMENTS



LOWER TRUCKING  
VOLUMES



REDUCED PORT STAY



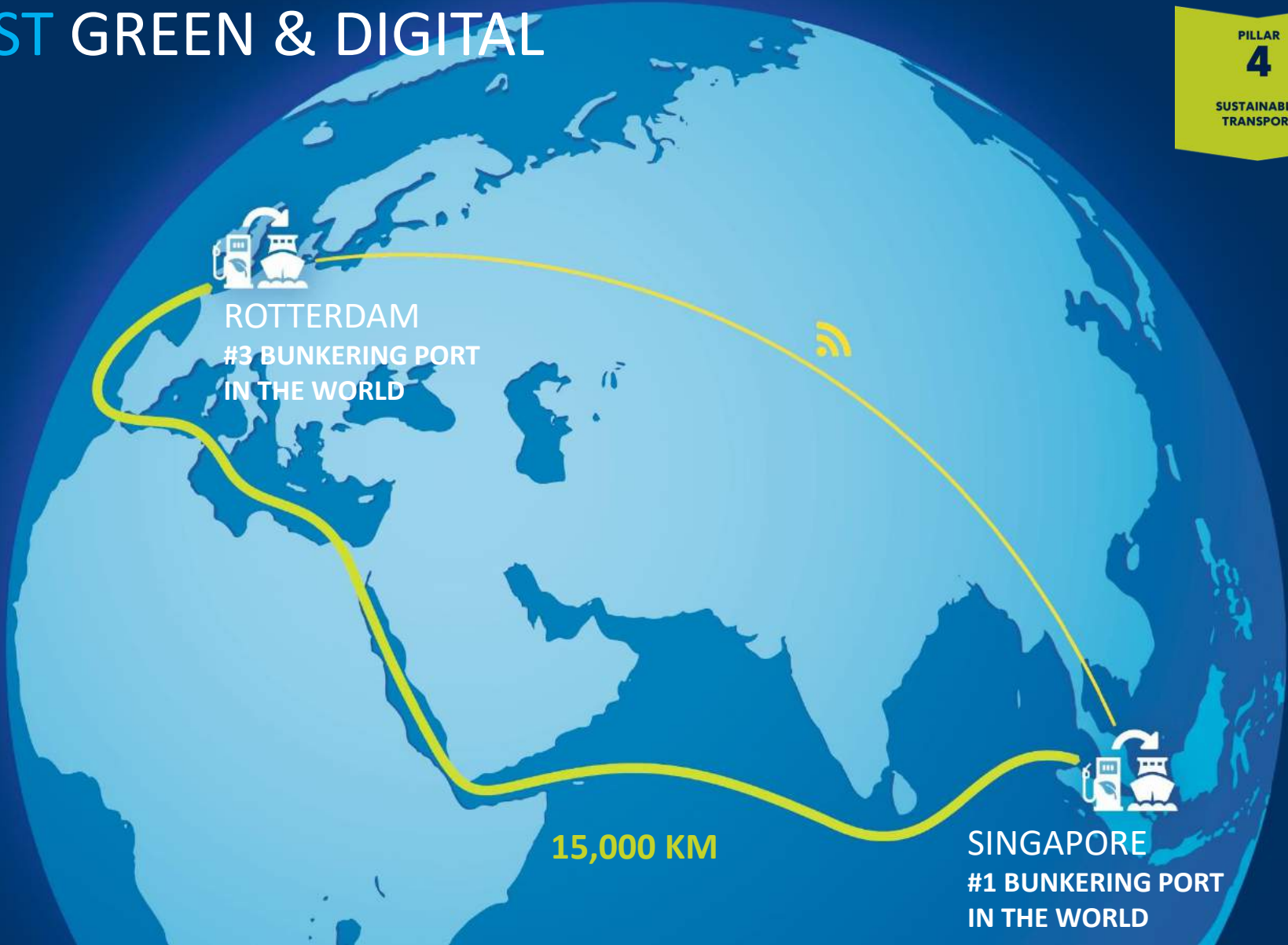
FEWER INLAND VESSELS  
AT DEEP-SEA TERMINAL



LOWER DEMURRAGE  
COSTS FOR SHIPPERS

# THE WORLD'S LARGEST GREEN & DIGITAL SHIPPING CORRIDOR

PILLAR  
**4**  
SUSTAINABLE  
TRANSPORT



## GREEN CORRIDOR

- Broad coalition of partners across the supply chain
- Joint pilots for bunkering and use of sustainable fuels
- Enabling low & zero carbon shipping

## DIGITAL CORRIDOR

- Create seamless digital tradelane
- Optimize just-in-time sailing
- Improve efficiency, safety and speed

Logos of partner organizations: bp, Shell, MSC, CMA CGM, dcsa, ONE, MAERSK, PSA.

# INITIATIVES

portbase®

route scanner



NEXTLOGIC

 **GoodShipping**  
better world

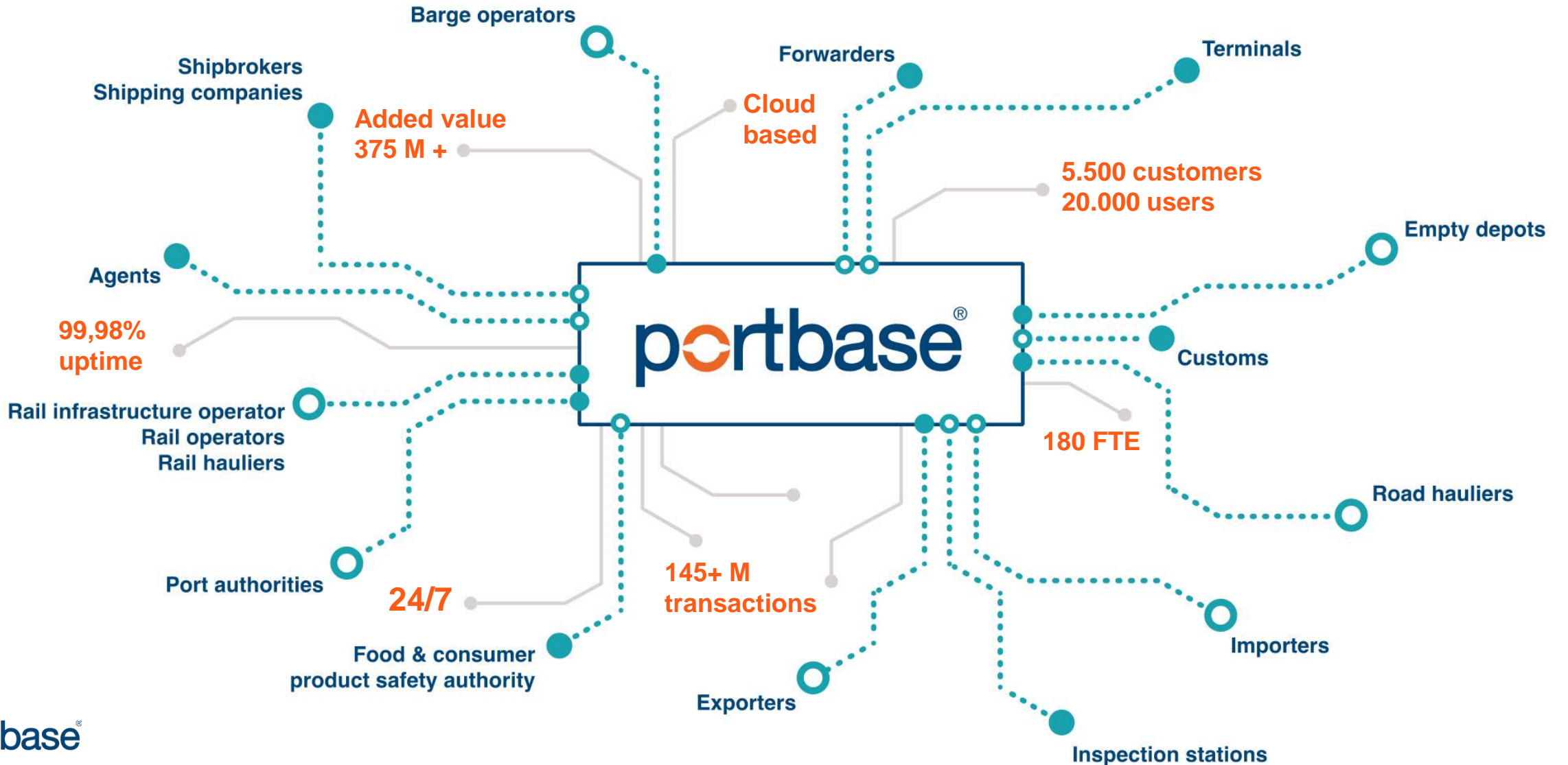
 **ZERO  
EMISSION  
SERVICES**



Condor H<sub>2</sub>

# Portbase

## Digitalisation in Port Logistics



# Rethink your supply chain

*Sustainable decisions made simple*



route scanner

Home Solutions Resources About us

1 out of 3 searches used. Register for free for unlimited searches or Log In

Munich Port of Tokyo 20-10-2023 Sea, Rail, Barge, Truck Sorted on Minimal CO2e emission Edit search

Legend: Rail (Green), Truck (Purple), Deep-sea or short-sea (Blue), Barge (Orange)

Lead time	Transfers	Departure	Arrival	kg CO2e/TEU	Details
1 maand en 11 dagen	1	26 Oct 11:00 UTC +02:00	07 Dec 00:12 UTC +09:00	1300	<a href="#">Details</a>
1 maand en 12 dagen	2	20 Oct 18:00 UTC +02:00	02 Dec 03:30 UTC +09:00	1210	<a href="#">Details</a>
1 maand en 12 dagen	3	26 Oct 11:00 UTC +02:00	07 Dec 20:12 UTC +09:00	1395	<a href="#">Details</a>





**NEXTLOGIC**  
chain optimisation inland container shipping



# GOODSHIPPING

INSETTING FOR SHIPPERS

## THEY MADE THE SWITCH!

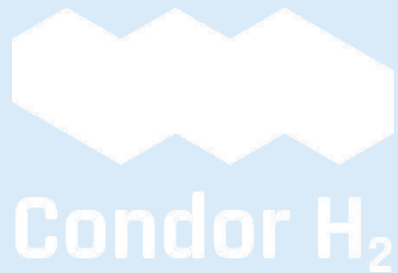


# ROTTERDAM IS FIRST MOVER IN ZERO-EMISSION TECHNOLOGY HINTERLANDTRANSPORT

CONDOR H2

HyTrucks

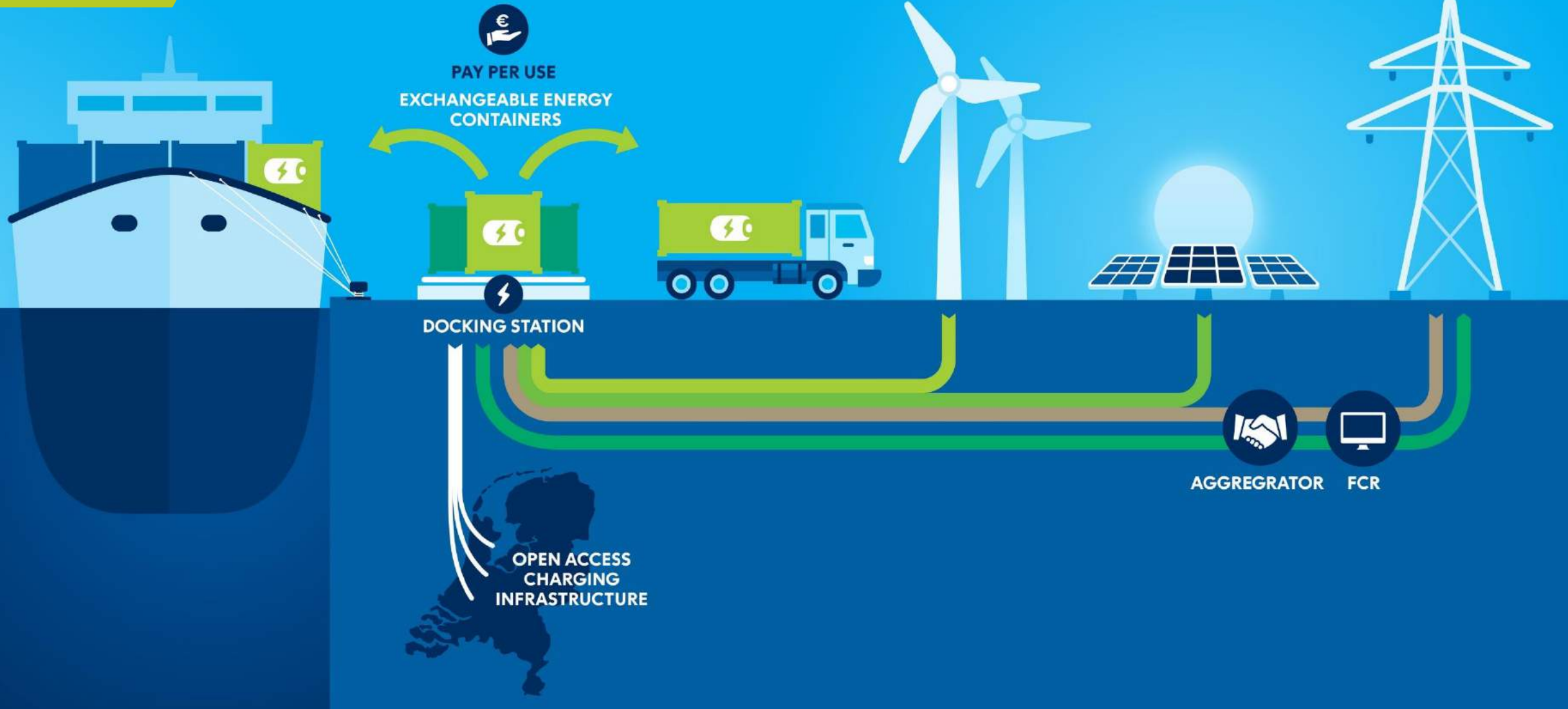
Zero-Emission Services (ZES)



# FUEL SWITCH

Hinterland

# ZERO EMISSION SERVICES



# HYDROGEN ECOSYSTEM IN ROTTERDAM



# WHY ROTTERDAM?



**CONNECTING THE WORLD.  
BUILDING TOMORROW'S SUSTAINABLE PORT.**

# THANK YOU AND SEE YOU IN ROTTERDAM



**Anita van der Laan**

Program Manager Shippers & Forwarders

[a.laan@portofrotterdam.com](mailto:a.laan@portofrotterdam.com)

+316 2182 7039



**Kenzo van Maris**

Business Manager Shippers & Forwarders

[kpc.maris@portofrotterdam.com](mailto:kpc.maris@portofrotterdam.com)

+316 5310 2863



Website:

<https://www.portofrotterdam.com/en/logistics/cargo/containers>





Q&A



## Closing speech

**MR. JEROEN BOKHOVEN**

Executive Director for Japan

Netherlands Foreign Investment Agency





転換期にあるオランダのFDI

## ビジネス環境 オランダが直面する課題



労働市場の圧迫



不動産市場の圧迫



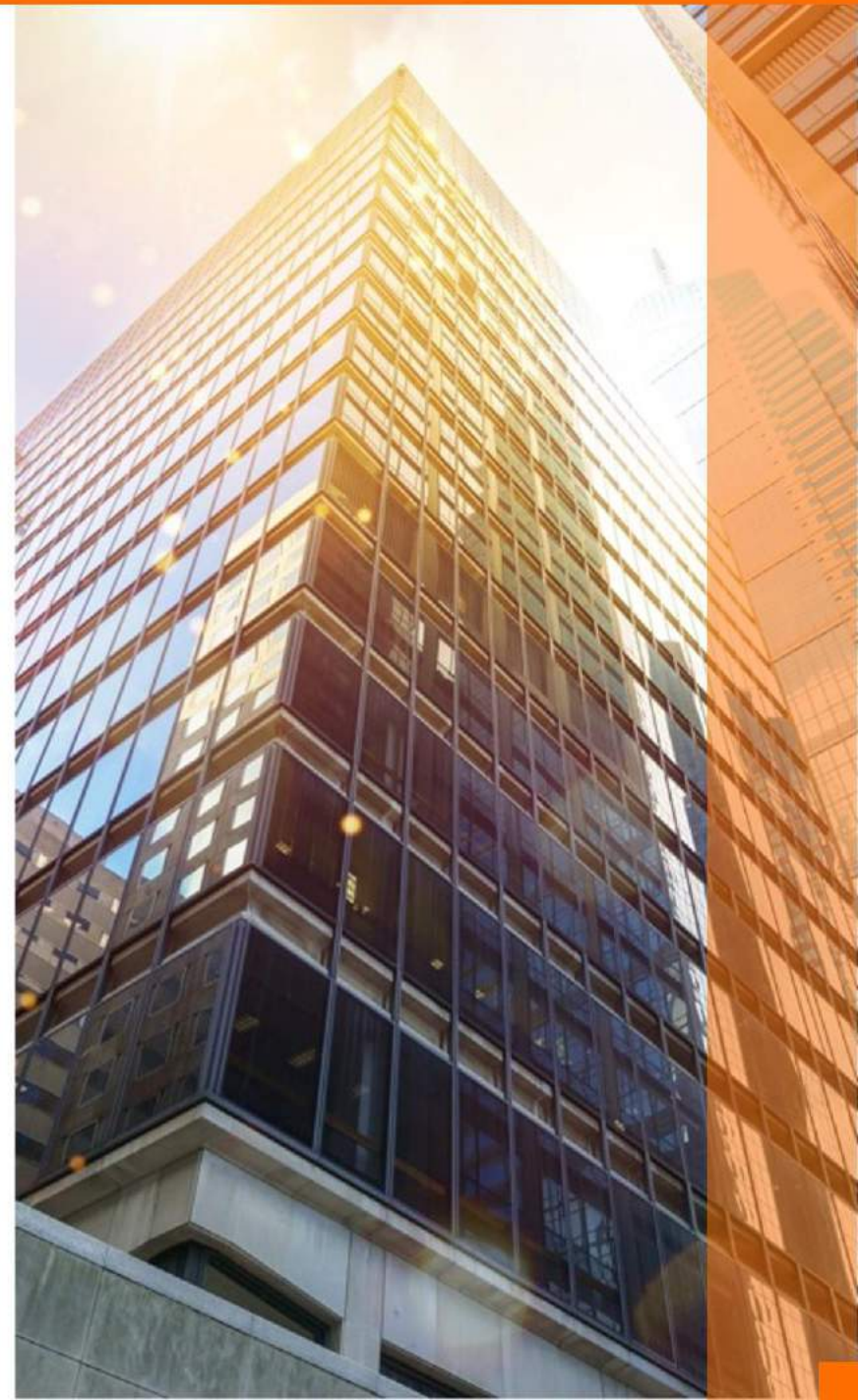
工業用スペースの圧迫



エネルギーの供給課題



窒素問題





転換期にあるオランダのFDI

## 外国企業がオランダを選ぶ理由

### 地理的優位性

欧州の中心地  
欧州大陸内  
物流インフラ（スキポール空港、ロッテルダム港など）

### 有利な税制

比較的低い法人税  
R&D活動に対する優遇税制  
30%ルーリング  
VAT繰延べ制度  
など

### 良いビジネス環境

多言語に対応できる労働力  
政府による積極的な協力  
比較的低いコスト（ビジネス、生活など）





オランダ経済・気候政策省 企業誘致局 (NFIA Japan)

## Invest in Holland Network – インベスト・イン・オランダ ネットワーク



**Invest in Holland (インベスト・イン・オランダ)**とは、オランダ経済・気候政策省の実務機関である Netherlands Foreign Investment Agency(オランダ経済・気候政策省企業誘致局)と、オランダ各州、各地域のパートナーからなる国の機関です。近年では特にイノベーション、デジタル化、サステナビリティ (Co2削減、ESGなど) の領域で、社会課題解決に貢献するプロジェクトに力を入れています。



### パートナーのご紹介

国内ネットワーク、政府機関、各産業クラスター、コンサルタントなど



### 最新情報のご提供

税制などのインセンティブ、ロケーション選定、規制、許認可手続きなど



### 現地視察の実施

ソーシャルディスタンスに配慮したカスタムメイドな現地視察／デジタルツアーの実施



### NFIAが提供するサービス

これらの各種サービスは、部外秘、無償にて提供されます

